

2022年11月21日

「持続成長プラン 2025」の策定に関して株主の皆さまへ

当社は『「持続成長プラン 2025」策定に関するお知らせ』を2022年11月14日に開示いたしました。本計画の狙いやさらなる成長に向けた投資戦略について改めて説明させていただきます。

「持続成長プラン 2025」は「長期経営ビジョン 2030」（目標：売上高 600 億円、営業利益 50 億円）の実現に向けた第二ステージとして、2022年10月から2025年9月までの中期経営計画を示したものです。第一ステージの前中期経営計画では、売上高約 376 億円（30%増）、営業利益約 34 億円（17%増）へ大きな成長を遂げることができました。

一方で、「長期経営ビジョン 2030」の実現に向けては、急速な少子高齢化が進む中、地域創生や環境・新エネルギー分野への事業多角化をさらに加速させる必要があります。また、新型コロナウイルスの感染拡大により停滞した海外事業展開の再加速が必要です。さらに、企業としての地球温暖化への対応、また、人材の育成や働き方の改善など、持続可能な企業への転換が求められています。

当社グループは、「長期経営ビジョン 2030」の実現をさらに確実なものとするために、これからの3年間を、事業や組織・人材の基盤固めのステージと位置づけ、「持続成長プラン 2025」の基本方針を「国土基盤整備・保全分野のさらなる強化と環境・新エネルギー分野及び地域創生分野の新たな事業分野としての確立。事業を支える多様な人材が働きがいを持てる環境づくりを推進。」としています。

この方針に基づき、これからの3年間で、①人・夢・技術グループの強化や新分野の事業拡大のための事業投資やM&A、②人・夢・技術グループ全体の財産である人への投資（人員増加、人材育成、報酬増）、③更なる業務効率化に向けたIT化とDXへの投資、を積極的に進めます。

この様に、今中期経営計画では、これまで以上の積極投資を行う事から、結果として営業利益は抑えられ、特に2023年9月期は政府の要請による賃金増加等により減益見込みとなりますが、現中期経営計画期間における受注、売上はこれまで通り好調な市場に支えられ確実な増加を図って参るものと考えております。

このように、「長期経営ビジョン 2030」の実現に向け、計画通り確実に推移しています事、何卒ご理解いただけますと幸いです。

なお、上記の詳細は12月8日(木)に開催する2022年9月期決算説明会（アナリスト向け）にて報告をさせていただく予定です。決算説明会の説明の書き起こしは、翌営業日を目標にHPに公開いたします。

持続成長プラン 2025 の目標値

	2019年実績 (当初)	2022年実績 (前中期経営計画)	2025年目標 (本中期経営計画)	2031年目標 ^{注2)} (長期経営ビジョン2030)
売上高 ^{注1)}	290 億円	376 億円	478 億円	600 億円
営業利益 ^{注1)}	29 億円	34 億円	32 億円	50 億円
社員数	1,492 人	1,760 人	約 2,400 人	約 2,600 人

注1) 売上高、営業利益は四捨五入の値

注2) 長期経営ビジョン 2030 の最終事業年度